

成人発達理論による能力の成長  
ダイナミックスキル理論の実践的活用法

*Processes & Mechanisms of  
Skill Development*

成人発達理論による  
**能力の  
成長**

ダイナミックスキル理論の  
実践的活用法

Yoshihiro  
加藤洋平

スキルは

どう

伸びるのか？

スキルは

どう

伸ばすのか？

環境依存性・課題依存性・変動性・サブ能力・最適レベル・機能レベル・発達範囲・5つの能力階層・5つの成長法則など、  
様々なキーワードで読み解く能力開発のメカニズム

日本能率協会マネジメントセンター

ハーバード大学教育大学院  
カート・フィッシャー教授の  
実証研究をもとに解説！

発売日: 2017年6月30日

出版: 日本能率協会マネジメントセンター

著者: 加藤洋平

ページ: 363

能力開発の領域で、欧米同様に日本でも近年注目されている成人対象の「発達心理学」。ハーバード大学教育大学院(HGSE)を中心に研究が進み、ロバート・キーガン教授らの成果が『なぜ人と組織は変わらないのか』『行動探求』(ともに英治出版)、『なぜ部下とうまくいかないのか』(小社)などの書籍として日本で紹介されています。

キーガンの理論では、人間の器(人間性)の成長を中心に扱うものですが、人間性が高いにもかかわらず、仕事の力量(スキル)は低いという人も見受けられます。そこで本書では、その矛盾を是正するものとして、スキルの成長にも焦点を当てた、HGSEカート・フィッシャー教授が提唱する「ダイナミックスキル理論」に基づく能力開発について事例をもとに解説します。

キーガン教授およびフィッシャー教授とも親交のあった著者が、日本の人事部門や管理者など能力開発を担う実務家を対象に、スキル開発のメカニズムとプロセスを解き明かし、その実践法をわかりやすく丁寧に解説します。そして各項目ごとに「成長レシピ」というエクササイズを設け、本を読み進めながら実践を行う内容になっています。

また、本書の内容を補完するコラムは、コーヒーブレイクとして楽しい内容ばかりです。

<https://k2s.cc/file/35368dff2f73/GkeudyP6o.pdf.rar>